

令和3年10月25日(月)
第3回総合教育会議資料

尼崎市教育振興基本計画の 進捗状況と今後の対応について

令和3年10月

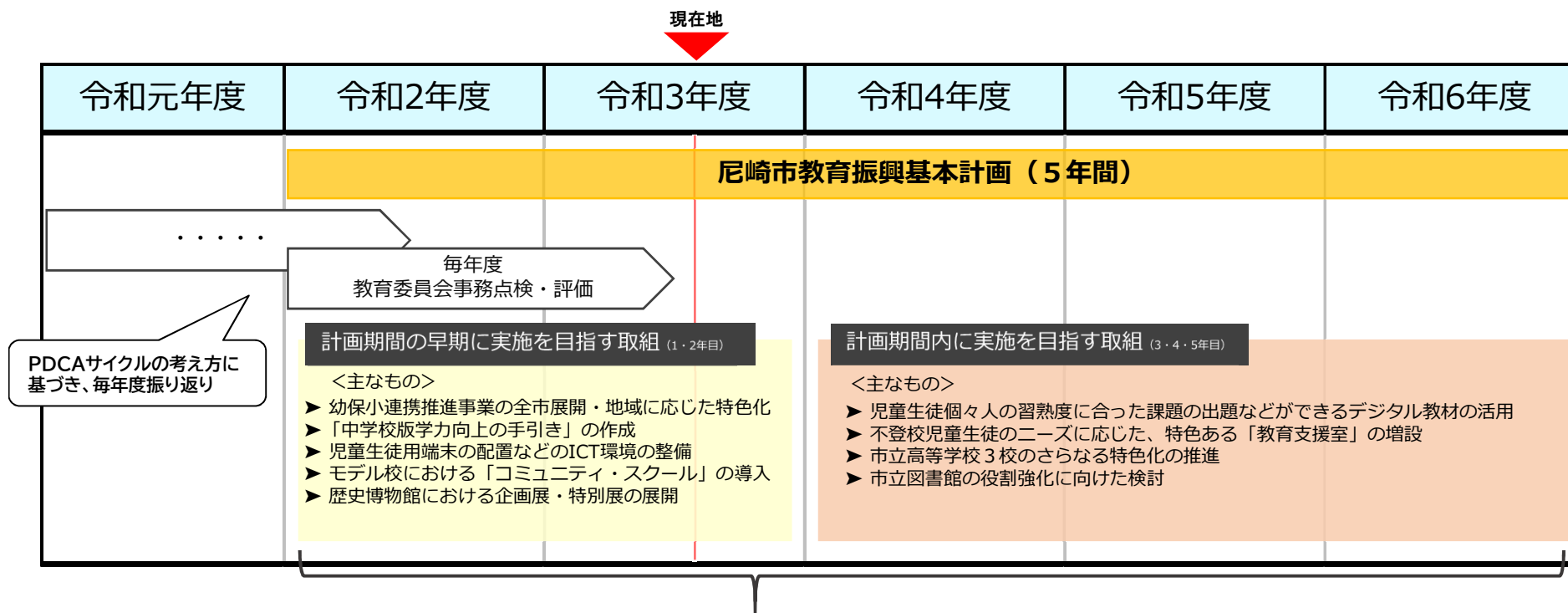
< 目 次 >

1. 計画の概要 …p1
2. 計画の進捗状況 (各論1~10) …p2~3
3. 今後の対応 …p4

1 計画の概要

【計画期間】 令和2年度から令和6年度まで

→ 毎年度「教育委員会事務点検・評価」を実施し、前年度の取組を振り返り



計画の推進にあたって、

- ・ 「計画期間の早期に実施を目指す取組」（計画期間の5年間のうち、1・2年目までに実施を目指す取組）
 - ・ 「計画期間内に実施を目指す取組」（計画期間の5年間のうち、主に3・4・5年目までに実施を目指す取組）
- の2つに分けて進行管理

2 計画の進捗状況（各論1～5）

< 主な取組 >

※赤字は、R4年度向けの対応方針

章 節	基本計画に掲げる取組方針 (目指す取組)	進捗状況 (R3.10.25時点)			取組状況
		実施済	取組中	検討中	
1 就学前教育					
	「幼保小連携推進事業」の全市展開・地域の状況に応じた特色化		○		就学前教育、小学校教育それぞれが求める教育内容を踏まえたアプローチ・カリキュラムの具体的な実施等、今後の全市展開に向けた幼保小の一層の円滑な接続に向けた取組を進めている
	今後の就学前教育のあり方の検討		○		令和3年度より「尼崎市立幼稚園のあり方検討会」を設置し、今後の市立幼稚園における教育内容の充実策等の検討を進めている ⇒検討会の報告を踏まえ、これからの就学前教育の方向性を示すビジョンを策定予定
2 義務教育					
	キャリア教育の充実やきめ細かなステップでの評価機会の設定などをまとめた「中学校版学力向上の手引き」の作成	○			令和3年3月に「授業デザイン 3つの視点」(中学校版学力向上の手引き)を策定した
	新学習指導要領への対応に向けたALTの配置など外国語教育環境の整備		○		令和2年度よりALTを増員し、小学校へのALT派遣を増やすとともに、全小学校へ指導者用デジタル教科書を導入している ⇒さらなる英語教育の推進に向け、教員研修の充実による指導力向上を図る
	児童生徒個々人の習熟度に合った課題の出題などができるデジタル教材の活用	○			令和3年度から学習支援ドリル(ICT教材)を導入し、児童生徒一人ひとりのつまずきの分析や習熟度に合わせた効果的・効率的な学習を実施している
3 高等学校教育					
	より一層地域社会と連携したカリキュラムの推進や、地域社会を担う人材の創出を目指した取組の推進		○		地域とつながる市立高校改革の推進に向け、市立尼崎高校において新カリキュラムを実施するとともに、尼崎双星高校においても新たに地域課題解決型学習を展開している ⇒市立高等学校のさらなる特色化を推進する
	市立琴ノ浦高等学校における通級指導の実施		○		特別な支援を要する生徒を対象に通級指導を実施するとともに、校内に通級運営委員会を設置し、対象生徒の認定や支援方法の協議等の取組を実施している
	実践的英会話能力の向上を図るための海外語学研修の実施内容の改善			○	海外語学研修をマレーシア(学生寮宿泊)からオーストラリア(ホームステイ宿泊)に変更予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により実施にいたっていない ⇒海外での実施が困難な場合の代替案として国内での語学研修プログラムを検討する
4 豊かな心の育成、いじめ防止					
	専門的知識を有する支援員による出前授業の実施などによる情報モラル教育の一層の充実に向けた取組の実施		○		小・中学校において専門的知識を有する支援員による出前授業を実施し、ネットいじめの防止に向け、SNSをはじめとする情報モラルの向上を図っている ⇒高等学校においても支援員の派遣による情報モラル教育の向上を図る
5 不登校対策					
	不登校児童生徒それぞれのニーズに応じた、特色ある「教育支援室」の増設		○		令和3年度から、新たな教育支援室(「ほっとすてっぴSOUTH」)を大庄地区に増設し、市内全域の子どもを対象にオンライン学習支援をモデル的に実施している ⇒オンラインを活用した学習支援を拡充する



…R4向けに事業の拡充等を予定している項目 (p4へ)



➤R4拡充



「授業デザイン 3つの視点」
(中学校版学力向上の手引き)



➤R4拡充



タブレット端末を活用した授業の様子



➤R4拡充



教育支援室「ほっとすてっぴEAST」



➤R4拡充



➤R4拡充

2 計画の進捗状況（各論6～10）

< 主な取組 >

※赤字は、R4年度向けの対応方針



…R4向けに事業の拡充等を
予定している項目（p4へ）

各論	基本計画に掲げる取組方針 (目指す取組)	進捗状況 (R3.10.25時点)			取組状況
		実施済	取組中	検討中	
6 特別支援教育					
	インクルーシブ教育システムの全市展開による、就学前段階からの切れ目のない支援の充実		○		令和3年度から、全ての市立幼稚園に教育支援員を配置している ⇒インクルーシブ教育システムの全市展開に向け、小・中学校における教育支援体制を充実させる
	特別支援教育のあり方の検討などを行うための検討委員会の設置	○			令和2年度に「尼崎市特別支援教育基本方針検討会議」を設置し、令和3年2月に「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育のあり方について(基本方針)」(あまっ子方針)を策定しており、令和3年度に「尼崎市医療的ケア実施体制ガイドライン検討委員会」を設置し、「尼崎市医療的ケア実施体制ガイドライン」を策定予定
7 教育環境の整備					
	児童生徒の安全等の確保やトータルコストの削減を図ることを目的とした学校園施設のマネジメントに係る計画の策定		○		令和3年3月に策定した「学校施設マネジメント計画」に基づき、具体的な実施計画の検討を進めている
	安全な教育環境の確保に向け、熱中症計の全校園への配布	○			児童生徒等の運動時の熱中症事故の防止のため、令和2年度に各学校園へ熱中症計を配布した
	小学校・中学校等への児童生徒用タブレット端末の配置をはじめとするICT環境の整備	○			全ての小・中学校等の校内ネットワーク環境を整備するとともに、児童生徒一人一台端末を配備した
	中学生の心身の健全な発達のため、おいしく栄養バランスの取れた中学校給食の実施		○		学校給食センターの施設整備や開業準備などを進め、令和4年1月から全中学校で給食開始を目指す
8 教員の育成・勤務環境の整備					
	全小学校及び特別支援学校へのスクール・サポート・スタッフ配置の成果と課題を踏まえた全中学校へ配置の検討	○			全ての小学校及び特別支援学校に配置しているスクール・サポート・スタッフを、令和3年度から全ての中学校にも配置している
	教員の負担軽減などに向けた学校給食費の公会計化	○			学校給食費については、令和3年4月から公会計方式に移行している
9 学校園・家庭・地域社会一体となった教育の充実					
	小学校以外の学校における地域学校協働活動の検討、及びコミュニティ・スクール導入校の拡大に向けた検討		○		モデル校(8校)において導入したコミュニティ・スクールの成果と課題を踏まえ、さらなる拡大に向けた検討を進めている ⇒小・中・高等学校でのコミュニティ・スクール導入に向け、段階的に拡大する
10 文化・教養・スポーツ施設を活用した教育の提供					
	令和2年10月開館予定の新博物館に合わせた魅力あふれる常設展示の構築、開館記念特別展や企画展の積極的な展開		○		歴史博物館において企画展を開催するとともに、尼崎の歴史や文化財に関わるテーマで特別展(令和3年10～11月)を開催している



➤R4拡充



「あまっ子方針」



尼崎市立学校給食センター



尼崎市立歴史博物館



➤R4拡充

3 今後の対応



＜次年度向けに実施を目指す主な取組＞

- ▶ これからの就学前教育の方向性を示すビジョンの策定 <各論1：就学前教育 計画p12>
- ▶ 英語教育のさらなる推進（英語教員向け研修の拡充） <各論2：義務教育 計画p16>
- ▶ 生徒の読書力向上に向けた取組（中学校図書室への司書配置） <各論2：義務教育 計画p- >
- ▶ 市立高等学校の特色づくりの推進 <各論3：高等学校教育 計画p18>
- ▶ 児童生徒による主体的なスマホルール作りの導入など、情報モラル教育の充実
<各論4：豊かな心の育成、いじめ防止 計画p20>
- ▶ 教育支援室への通級を目指したオンライン支援の拡充 <各論5：不登校対策 計画p22>
- ▶ インクルーシブ教育システムの構築に向けた教育支援体制の充実 <各論6：特別支援教育 計画p24>
- ▶ 地域とともにある学校づくりの推進（コミュニティ・スクール導入校の拡大）
<各論9：学校園・家庭・地域社会一体となった教育の充実 計画p32>

※ <> 内は、教育振興基本計画における各論の分類及び同計画で対応するページ番号

※上記の取組は教育委員会の令和4年度向け政策・予算要求事項であり、今後、市長部局（財政当局等）との調整を行う予定